

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討するという問題について、多くの生徒が正答できている。スピーチやグループワークなどで、相手に自分の考えをわかりやすく伝える学習活動の成果と捉えている。
- 読書の楽しみが述べられた文章の中で、中心的な部分と付加的な部分を捉えて要旨を把握する問題について、多くの生徒が正答できている。授業において、要約するなどの基礎的な文章読解の能力が身に付いていると捉えている。

【課題】

- 文脈に即して漢字を書く問題について、課題が見られる。新出漢字の練習だけでなく、既習の漢字についてもこまめに確認を行うなどの取り組みが必要である。
- 現代語で書かれた文章を古典と比較し、その工夫点について自分の考えを書くという問題に課題が見られる。自分の考えを、根拠を明確にして書く機会を多く取り入れていく必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- データの活用に関する問題について、比較的正答できている。特に、度数分布表や、四分位範囲を理解し、表のどの値を活用するかを理解したうえで解答していると捉えている。
- 選択して答える問題などは、自分なりに思考を巡らせたうえで解答できている。これは、普段の授業から、教え合い・学び合いの場面を作り、問いに対して最後まで取り組み、諦めずに解くことを行ってきた成果と言える。

【課題】

- 知識・技能の問題で、文章を読み取り具体的な数値を当てはめて求めることはできるが、その規則を基に文字を使って方程式を作り、新たに数値を求めることに課題が見られる。解答だけでなくその過程を大切に活動を行う必要がある。
- 思考を伴う問題では「無解答」の生徒が特に増えている。普段の授業から思考を伴う問題を増やし、学び合い・教え合いの時間を設ける中で、理解を深めていく必要がある。

3 英語に関する調査

【特長】

- 様々な場面での会話を聞いて情報を正確に聞き取る問題は、概ね正答できている。「聞く」「話す」を中心とした言語活動に積極的に取り組んできた成果と捉えている。
- 短い文章を読んで概要を捉えたり、その中から必要な情報を読み取ったりすることが比較的できている。文単位で逐一和訳するのではなく、段落ごとにイメージを掴んで、その文章全体のおおまかな内容を理解する力が身に付いていると捉えている。

【課題】

- 社会的な話題についての文章を読んで、自分の考えを述べる問題では、無解答の生徒が比較的多く見られる。自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く活動を取り入れていく必要がある。
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題に課題が見られる。文法事項を理解し、正確に書く練習を行う必要がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 先生が、生徒の良いところを認めてくれると思うと捉えている生徒の割合が高い。生徒一人ひとりの状況を把握し承認する姿勢で対応していることや、教育相談などにおいて傾聴を心掛けた対応の成果と捉えている。
- 外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしたいと回答している生徒の割合が高い。英語の学習が将来に役立つと肯定的に捉え、意欲的に英語を使ってコミュニケーションをとることができているものと考ええる。

【課題】

- 「特別の教科 道徳」の授業において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる生徒の割合が低い。このことは、「特別の教科 道徳」以外の教科学習にも共通しているところがあるため、自分の考えを深め、表現する活動をあらゆる場面で設定する必要がある。
- 学習が将来に役立つと考えている生徒の割合が高いが、家庭学習を積極的に行っている生徒の割合は低い。学習を計画的に行う姿勢を身に付けさせる必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 自分らしく自信をもって表現できるよう、褒める、話しかける、話を聴く、互いに認め合う場面をつくり、一人ひとりの自己肯定感を高め、自信をもたせるための支援や指導を継続する。
- 基礎・基本の定着を図るために、繰り返し取り組む課題や、短時間で取り組める課題をきっかけとして学習を習慣化させるとともに、長時間かけて粘り強く取り組む課題を効果的に設定する。
- 知識や技能を身に付けさせる指導に加え、習得した知識や技能を活用し、主体的に考えたり、表現したりする活動をあらゆる場面において設定する。
- 年間3回実施している校内での研究授業を今後も継続し、指導主事の指導助言などを得ながら指導と評価の工夫・改善に努める。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 決まった時刻に寝起きし、朝食を食べ、登校するなど、基本的な生活習慣が確立するよう、ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。
- 学習面では、家庭学習が習慣化されていない状況がやや見られます。計画的に家庭学習を進めたり、読書の習慣が付けられたりするよう、ご家庭でもお声かけをお願いします。
- 子どもは家庭・学校・地域の中で育ちます。学校行事や地域行事にはご家族で積極的に参加していただき、子どもたちを共に励まし、支えていきましょう。自分で考え、行動する機会を数多くもてるよう、引き続きご支援をよろしくをお願いします。